



交流協会の皆さん

[ミャンマー選手団事前キャンプ]

笑顔、あふれる。

Tsurugashima X Myanmar

鶴ヶ島

ミャンマー

8月26日から9月2日までの8日間、2020年の東京オリンピック出場を目指すミャンマー連邦共和国の陸上と柔道の選手団(代表チーム)が事前キャンプを行いました。

事前キャンプは、市と連携協力をしている城西大学を拠点として、コーチなどから指導を受けたり、大学生と共にトレーニングを行いました。

選手団の皆さんは、始めは異なる環境に、戸惑いと緊張が見られましたが、徐々に日本の気候や環境、食事に慣れ、充実したトレーニングになりました。

また、市内の各団体との夕食交流会や、小学生とのミニ運動会、水かけまつりなどの様々なイベントを通じて、多くの方々と親交を深め、笑顔いっぱいの交流となりました。

2020年の東京オリンピックでは、参加選手としての活躍に、期待が高まっています。



【後段左から】

ゾー リン アウンさん(柔道 男子)
 ヤン ナイン ソーさん(柔道 男子)
 ビョーシェジン キョーさん(柔道 女子)
 エイ エイ アウンさん(柔道 女子)
 チューミャツノ ウェーさん(柔道 女子)
 つるゴン
 タン タン ソーさん(陸上 20km競歩)
 ピューワー テツッさん(陸上 5000m 1万m)
 ザー ニトウンさん(陸上 1500m 5000m)
 テツ アウンさん(陸上 走高跳)
 ティ ティ レイさん(交流大使 通訳)

【前段左から】

新井副市長
 齊藤市長
 ニャン ソーさん(柔道 コーチ)
 キン キントウェさん(陸上 コーチ)
 近藤議長
 松井教育長



ミャンマー選手団と国際
 (鶴ヶ島水かけまつりにて)

温かい歓迎に感謝しています

―鶴ヶ島の印象を聞かせてください―

皆さんが自分の家族のように迎えてくれたので、本当にうれしいです。

また、とても綺麗で発展しているまちだと思いました。

それと、日本全体の印象もそうですが、規則正しく、ルールやマナーが守られている社会だと感じていますし、それはとても素晴らしいことだと思います。

―体調は問題ないですか―

まったく問題はありません。食事は、大学の栄養の先生が調理して食べさせてくれます。

Interview



タン タン ソーさん

それがとても美味しく、そのおかげで体調が良くなっています。

―練習はいかがですか―

指導していただいている先生の練習内容が充実しています。

―オリンピックへの思いを聞かせてください―

次回は東京でオリンピックが行われますし、とても素敵な大会になると思っています。

私も東京オリンピックに出られるよう、ミャンマーに帰国してからも継続して頑張っていきます。

―最後に鶴ヶ島の皆さんにメッセージをお願いします―

まずは、ホストタウンとしてミャンマーを受け入れていただき、感謝しています。

また、市民の皆さんが温かく迎えてくれて、本当にうれしいです。

ありがとうございます。

これからも頑張っていくしますので、引き続き応援よろしくお願いします。

今後、ミャンマーのホストタウンとして、心のこもった交流を広げていきます。

ミャンマーのホストタウンに

鶴ヶ島では、以前より今泉記念ビルマ奨学会、鶴ヶ島市国際交流協会による支援活動など、長年にわたるミャンマーとの深い親交がありました。

市では東京オリンピックに向けて参加国と交流を図るために創設された、国の「ホストタウン」制度を活用し、ミャンマーのホストタウンになりました。

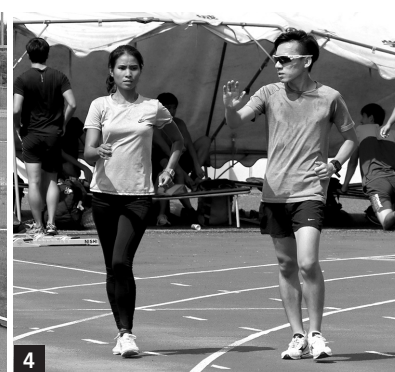
今回の事前キャンプは、ホストタウンとして、ミャンマーの選手団をお迎えし、オリンピックを見据え、選手としての能力の向上や、日本の気候や暑さなどを体験していただくとともに、市民の皆さんとの交流機会を創出することを目的に実施しました。

歓迎セレモニー 1

8月27日、アルカーサル迎賓館川越で、ミャンマー選手団の皆さんの他、駐日ミャンマー大使館公使、大使館関係者、今泉記念ビルマ奨学会の皆さん、練習場所を提供いただいた城西大学の方々などをお迎えし、歓迎セレモニーを行いました。



日が続につれ、皆さんの笑顔も増えて充実した事前キャンプになりました。



セレモニーでは、選手団の皆さんへ来訪記念として、市民の方々から和紙ちぎり絵が贈呈されました。

合同練習 2・7

8月27日から31日までの間、城西大学で大学生との合同練習を行いました。

陸上競技では、充実した練習施設を使い、長距離走、競歩、走高跳などの競技で、コーチから直接アドバイスを受けながら、トレーニングを行いました。

また、大学生と身振り手振りのジェスチャーなど、言葉以外のコミュニケーションも取りながら、積極的に取り組み、技術力などの強化につなげました。

柔道では、柔道場で投げ技や寝技、乱取りなどを行い、汗を流しました。特に、乱取りでは、大学生と激しい稽古を繰り返して行っていました。

ヤンナインソーさん²は、「初めは時差などで疲れていましたが、体調も良くなってきており、しだいに練習にも慣れてきました。充実した稽古ができています」と語ってくれました。

夕食交流会 8、9

夕食時には、市内の飲食店で、鶴ヶ島市商工会異業種交流会、鶴ヶ島市国際交流協会、今泉記念ビルマ奨学会の皆さんとの交流が行われました。

地元飲食事業者による、ミャンマーと地元食材をコラボした「ホストタウン料理」が振舞われるなど、夕食を取りながら、とてもリラックスした、楽しいひとときを過ごしました。

ミニ運動会 10

8月31日、南中学校体育館で、鶴ヶ島市体育協会とミニ運動会を行いました。

これは、日本ではお馴染みの運動会を選手団に体験してもらうとともに、国や言語を超えて、運動を通じて気軽にコミュニケーションが図れるように開催したものです。

参加した選手団と小学生は、各チームに分かれ、玉入れや大縄跳び、綱引きなどの競技で共に作戦を練り、挑んでいました。競技が進むにつれ、交流が深まり、笑顔あふれる運動会になりました。



鶴ヶ島水かけまつり2019 11、12、34ページ

9月1日、市役所で水かけまつりを開催しました。

このまつりは、鶴ヶ島市に江戸時代から伝わる降雨祈願の伝統行事「脚折雨乞」と、ミャンマーの伝統行事「ダジャン」に共通する「水」をテーマにコラボレーションしたまつりです。

ダジャンは、旧正月を祝う伝統行事で、水をかけることで旧年の不幸や汚れなどを洗い流し、健康に新年を迎えるという意味があるそうです。

選手団は、大使館の方々が披露した民族舞踊を楽しんだり、消防団のポンプ車からの放水で、ずぶぬれになりながら市民の皆さんと一緒に踊っていました。

また、選手団は、ミャンマーの料理をはじめ、たこ焼きなどの日本の料理も体験し、「とても美味しい!」と喜んでいました。事前キャンプの締めくくりとして、たくさんの方々と交流し、思い出に残る特別な1日となりました。